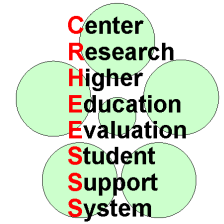


週刊センターニュース No.307



第307号(2010年5月14日) 金曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: <http://www.rche-kanazawa-u.jp/>

○●○ ラーニングコモンズにおける学習支援を考える ○●○

今年度より金沢大学ラーニングコモンズがオープンし、利用する学生の数も増えてきている。ラーニングコモンズのゾーニングとコンセプトメイキングについてはNPO法人 Educe Technologies 代表理事の山内祐平先生(東京大学大学院情報学環 准教授)のご助力を賜った。3階のオープスタジオの一部設計には私本人も一部関わることができ、このように利用する学生が活発にグループワークに取り組んでいる姿をみると本当にうれしく思う。

ラーニングコモンズでは学習者の学習をマネジメントすることを目的に設計された、学習支援の場である、ということを確認した空間である(Schmidt & Kaufman, 2007)。そのため大学によって抱えている教育上の問題は異なるので、多様なラーニングコモンズがあるが、そこには共通している要素もある。ラーニングコモンズは、協調学習を支援する学習空間と、学習スキルの習得支援をする人的支援・ソフト面でのサービス、学習に必要なソフトや資料とそれらを統合した効果的な図書館マネジメントから構成されるとされている(井上, 2009; 米澤, 2008 など)。特に協調学習を支援する学習空間については、ラーニングコモンズに限らず、東京大学駒場ラーニングスタジオのように、授業を行う場として設置され、注目を浴びている。

ラーニングコモンズでは人的な学習支援が重要な位置づけとなる。海外のラーニングコモンズでは専門的知識を有した職員や学生で組織されたライティングセンターやキャリアセンターが設置され、利用者からの支援依頼に手厚い対応を行っている。

国内のラーニングコモンズにおいても、東京女子大学やお茶の水女子大学のように学習支援組織を学生中心に組織化し、ライティングなどの学習や設備使用の支援しているところもある。しかし、個人の学習だけでなく、協調学習の支援についてもラーニングコモンズの支援の範囲として検討しても良いだろう。協調学習に有効に利用できるようなソフトウェアの提案といった比較的容易な支援から、コミュニケーション方法といった実際のグループ学習支援、グループに合わせたテーブルの組み合わせ提案まで幅広い支援のあり方が考えられる。ライティングセンターなどの学習支援は、従来の図書館の機能を活用した重要な活動の一つであるが、あくまでも支援の対象は個人に閉じた学習になる。協調学習を支援する学習空間をラーニングコモンズ内に設置するということは、協調学習の人的支援もハード・ソフトを駆使して行う体制と内容を検討する必要も出てくる。

しかし、それを図書館職員だけで行うことは難しい。学内の教育・学習支援系の部局、情報管理系の部局、各学類のリテラシー教育に関わっている教員・職員との連携、また直接的な受益者である学生との連携も不可欠である。今後も金沢大学ラーニングコモンズの発展を検討して行きたい。

(教育支援システム研究部門 山田政寛)

○●○ 当センターの研究成果を、学会で報告いたします ○●○

◆日本高等教育学会第13回大会

日時: 2010年5月29日(土)、30日(日)

場所：関西国際大学 尼崎キャンパス（兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号）

自由研究、課題研究の各部会においてそれぞれ研究成果を発表いたします。詳細は、次の通りです。

- ・ III-4 部会 大学院教育2 「米国公共政策大学院の質保証システムの新動向と課題」

堀井祐介（早田幸政と共同発表）

- ・ 課題研究 I 職業教育の質保証：非大学セクターからのアプローチ

「韓国の専門大学教員と職業的レリバンスから」 渡辺達雄

この他にも、各大学における実践的FDプログラムやアンケートに基づいたFDの課題を扱う「FD部会」、学生の学習・課外活動の実態や学習成果の評価手法などについての報告がある「学生調査」にないし「学習成果」部会、副専攻制度の導入状況や北米でのラーニングコモンズの紹介がある「学生生活と学習環境」部会、キャリア教育部会、などの自由研究部会が設定されています。また、学生調査を機関としてどう使うか、あるいは利用しているか、その開発と測定、課題の克服をどうするかという点に焦点をあてる課題研究「教育改善にむけてのデータの開発：IRと学生調査」、画一的な質保証（設置基準と認証評価）の仕組みで質保証を続けていくことができるのかという課題で論じる公開シンポジウム「高等教育の多様化と質保証：設置基準・認証評価・参照基準」もあります。

◆大学教育学会第32回大会

日時：2010年6月5日（土）、6日（日）

場所：愛媛大学 城北キャンパス（愛媛県松山市文京町3番）

- ・ 部会7 情報教育・理数教育

「講義型授業でのグループ討論課題の開発 化学・細胞分子生物学について」 西山宣昭

- ・ 部会14 学生支援 「教職員の発達障害学生に関する認識を高めるFD・SD」 青野透

この他にも、リベラルアーツカレッジの現状報告やカリキュラム・マップの実践などの報告がある「学士課程教育」部会、各大学における初年次教育の取組みが紹介される「日本語教育・初年次教育」部会、米英などの大学教員の職能開発の現状を紹介する「大学教授職」部会などが設定されています。また、小笠原正明学会長による基調講演「大学教育における地方性と世界性」、小松親次郎文科相大臣官房審議官も交え3名のシンポジストで報告と討議が進められる予定のシンポジウム「地域社会と大学」もあります。

日本高等教育学会さらに大学教育学会は、大学教育研究の成果を広く世に問う貴重な場となっています。大学教育に関心をお持ちの方々、是非ご参加下さい。各大会のスケジュール等については、

日本高等教育学会 <http://www.kuins.ac.jp/kuinsHP/jaher2010/index.html>

大学教育学会 <http://ac.rsol.jp/lges/>

をご参照ください。

○●○ アカンスポータルにFD・SDカレンダー掲載中 ○●○

アカンスポータル上にFDカレンダー・SDカレンダーを掲載しています。大学教育に関連する学会開催情報、全国の大学や大学コンソーシアムによるフォーラム・セミナーの他、各種研修会情報（FDカレンダーは2010年8月まで更新、SDカレンダーは、2010年12月まで更新）もあります。是非、ご活用下さい。